

保存版  
第2版



# 大政奉還 150周年記念



各地名産品  
なども当たる!

各都市を巡って、  
日本の「大転換」を体験しよう!  
スタンプを集めて、旅行券などが当たる!



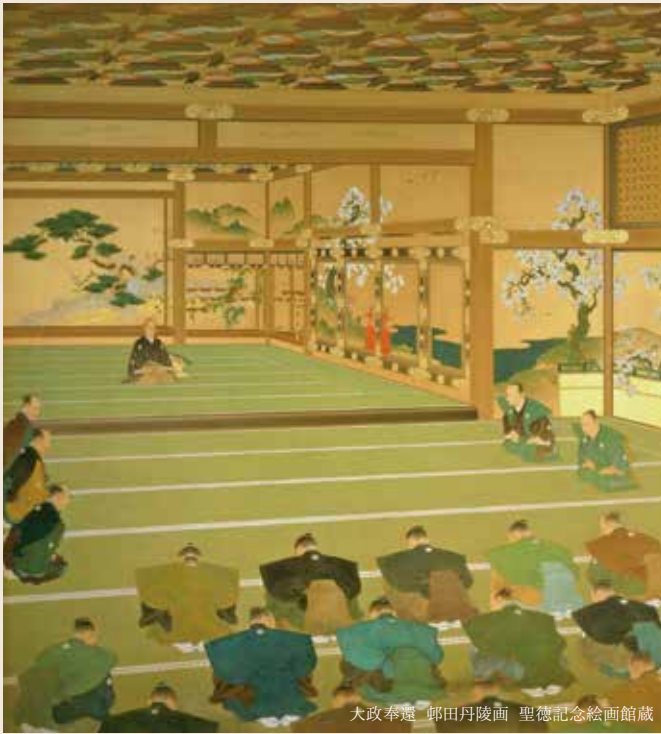


# それは、武家政権から近代日本へ 歴史の大転換

慶応3(1867)年10月

## 大政奉還

たいせいほうかん



大政奉還 郵田丹陵画 聖徳記念絵画館蔵

慶応3(1867)年10月14日、徳川家第15代将軍慶喜は、天皇に対し、「従来之旧習を改め、政権を朝廷に帰し奉り」とする上表を呈した。朝廷では翌15日、摂政二条斉敬ら主要廷臣が集会して協議のうえ、夜になってから、慶喜を御所に呼び寄せ、申し出の趣はもともとであるとして、その受け入れを伝えた。さらに、別に沙汰書を発し、今後、諸大名からの伺いや、命令布達などは、朝廷の議奏・武家伝奏が取り扱うと通告した。

徳川家が初代家康以来、征夷大將軍として264年にわたって保持していた、国内の行政に関わる権限は、こうして、天皇に移譲されたのである。その行動が、「大政奉還」と呼ばれるわけだが、実を言えば、この4字熟語は後年に名付けられたものであり、史料上には見あたらない。12月9日に発せられる、いわゆる王政復古の大号令には、「徳川内府(内大臣慶喜)、従前御委任大政返上、將軍職辞退之兩条、今般、断然聞こし食され候」とあって、「大政返上」という言葉が用いられていない。「奉還」は、明治時代になってから、「政権」もしくは「大政」が、將軍から

天皇に返還されたのである、という意味を強調するために、そう呼ばれるようになったものである。

慶喜が、このような行動に出る経緯にしても、もとより、それほど単純ではない。直接のきっかけになったのは、10月3日に土佐山内家の隠居、容堂が慶喜に、今こそ「王制復古之業を立てざるべからざるの一大機会と存じ奉り候」とする建白を提出したことであった。慶喜は、この建白を承けて、14日の上表に至ったのだが、その前日には、在京している10万石以上の大名家の重臣を二条城に召集し、「政権」返上の予定であることを公表して、その所見を尋ねた。

集まったのは、尾張・紀州・彦根・讃岐高松・姫路・庄内・加賀・阿波・筑前福岡・仙台・鳥取・肥後熊本・米沢・越前福井・備前岡山・薩摩・土佐・芸州広島・宇和島・会津・新発田など、40藩50余名である。主要な大名家の、ほぼすべてが参集したといえる。

ちなみに、現在の二条城二の丸御殿の大広間には、上段の間に座する將軍の前で、袴姿の重臣たちが平伏するイメージが、展示によって再現されている。いずれにせよ、「政権」返上という政策は、事前に諸大名側に通知され、その了解を経たうえで実施されたのである。見方によっては、日本史上、稀に見る大変革にふさわしい手順を経て実現した、といえるだろう。

佛教大学歴史学部歴史学科 教授 青山忠正



西暦	タイトル	参画都市	スタンプ	ページ
1853	黒船来航	福山市・品川区	阿部正弘・山内容堂	3
1856	拳国一致	萩市	萩・明倫学舎	4
1858	激化する攘夷	千代田区	江戸城	5
1862	公武合体	福井市・熊本市	松平春嶽・横井小楠	6
1863	京都騒乱 京を守れ!	会津若松市・桑名市	会津藩旗印・松平定敬	7
		調布市・日野市	近藤勇・土方歳三	8
1864	下関戦争と 長州征討	下関市	高杉晋作	9
1866	薩長同盟	鹿児島市	西郷隆盛	10
		霧島市	高千穂峰	11
1867	いろは丸事件	長崎市	長崎市亀山社中記念館	12
		宇和島市・上田市	伊達宗城・赤松小三郎	13
		高知市	坂本龍馬	14
	大政奉還	京都市	元離宮 二条城	15
		京都市・和歌山市	新選組の「誠」の旗・和歌山城	16
1868 -1869	戊辰戦争	高梁市	備中松山城	17
		静岡市	徳川慶喜	18

- ◆番外編 西南戦争と日本赤十字社の誕生・江戸幕府最後の牙城、大坂城 ————— 19
- ◆2017年ますます面白くなる各地のイベント ————— 20・21・22
- ◆幕末史を彩る和菓子と日本酒の文化 ————— 23・24

日本の未来のために多くの人が各地に集い、議論し、行動した幕末維新。全国には、その歴史を感じることができる場所が数多く残っています。

是非多くの場所に足を運び、その地域の文化にも触れてみてください。きっと、地域同士のつながりなど、新たな発見ができることでしょう。

本スタンプラリーを通じて、全国各地の多様な魅力が大いに発信され、文化の力で日本が元気になることを念じています。

京都市長 門川 大作





くろふねらいこう

# 黒船来航

浦賀に来航したアメリカ艦隊4隻の黒船。  
幕末の動乱は、ここに幕を開けることになりました。

スタンプスポット

福山市

ふくやまじょうはくぶつかん  
福山城博物館

品川区

しながわくりつしながわれきしかん  
品川区立品川歴史館

## ▲ 老中首座 阿部正弘が開国を決断

嘉永6(1853)年6月、アメリカ東インド艦隊司令官ペリー率いる4隻の艦隊が、浦賀に来航。日本に開国、通商を求める大統領の親書の受け取りを求めました。この時の老中首座(現代で言えば総理大臣に当たる)が阿部正弘です。

福山藩阿部家7代藩主であった正弘は27歳で老中首座に

就任しました。そして、江戸幕府の最高責任者として、開国という幕政の大転換を迫られます。正弘はそれまでの慣例を破り、諸藩の藩主や藩士、幕臣から広く意見を

募り、日米和親条約締結を決断します。その後は、勝海舟をはじめとして人材を広く登用し、大船建造の禁を解くなど、安政の改革を断行しました。



福山城公園内には「阿部正弘公銅像」も建立されています。



阿部正弘 福山市

まだまだある！  
幕末維新ゆかり  
のスポット

おおたけじゅうたく  
「太田家住宅」と

おおたけじゅうたくちまうどう  
「太田家住宅朝宗亭」 福山市

文久3(1863)年、八月十八日の政変で京を追われた尊王攘夷派の三条実美ら七卿が、長州へ落ちる途中や、その翌年に再起をかけた京を目指す途上で輻へ寄港し、豪商中村家に立ち寄りしました。その建物が「太田家住宅」と「太田家住宅朝宗亭」で、「輻七卿落遺跡」として県史跡に、建物は国重要文化財に指定されています。



やまうちょうどうほしよ

山内容堂墓所 品川区

「幕末の四賢侯」と呼ばれ、老中阿部正弘を支えた15代土佐藩主の山内豊信(容堂)。その墓所は、現在の大井公園の一角にあります。

正弘の居城であった福山城は、幕末の動乱を乗り越えたものの昭和20(1945)年の空襲で国宝に指定されていた天守閣と御湯殿が焼失。後に復元された天守閣は、福山の歴史を伝える福山城博物館として、歴代藩主の書画・甲冑などを展示し、正弘の肖像画・書画・甲冑なども所蔵・展示しています。

## ▲ 若き日の坂本龍馬も警護に通った浜川砲台

黒船の来航で、列強の軍事力を目の当たりにした幕府と諸藩は、軍事力の強化、特に海防の充実を図ります。土佐藩はペリー来航の翌年、嘉永7(1854)年、下屋敷があった品川の沿岸に大砲を設置しました。そして、安政2(1855)年4月以降、土佐藩は浜川砲台を整備します。

土佐藩品川下屋敷跡は、現在、品川区立浜川中学校の付近で、この地から若き日の坂本龍馬も警護に通ったといわれています。浜川砲台の跡地には30ポンド6貫目ホーイッスル砲が



浜川砲台(復元) 品川区



二十歳の龍馬銅像 (品川区)

実寸大で再現され、最寄り駅の京急立会川駅近くには若き日の坂本龍馬の姿を再現した「二十歳の龍馬銅像」もあります。黒船の来航は、龍馬をはじめ若き武士たちにも危機感を抱かせ、日本全国に志士たちが誕生することになります。

スタンプを設置している品川区立品川歴史館は、日本考古学発祥の地といわれる大森貝塚と、東海道の第一の宿場として栄えた品川宿を中心とした常設展示で、品川の歴史を学ぶことができます。スタンプラリー期間中は、この地と関係が深い「幕末の四賢侯(P.13)の一人である山内容堂の展示も行っています。



山内容堂 品川区

# 挙国一致

開国、攘夷と意見は異なっても、心一つにして国難に立ち向かう。「挙国一致」は、すべての志士たちに共通していました。



萩市

はぎめいりんがくしゃ  
萩・明倫学会

## ▲ 維新の立役者を育てた吉田松陰

黒船の来航は、幕府や藩の中核だけでなく、藩士たちにも危機感を抱かせました。列強の圧倒的な軍事力を目の当たりにして、これからの日本はどうあるべきか、何をすべきなのかと、熱い議論が交わされ、挙国一致のもと全国に志士たちが誕生することになります。

薩摩藩と並んで倒幕の中心になった長州藩で、まず行動を起こしたのが吉田松陰でした。ペリーが再来した嘉永7(1854)年、列強に対抗するためには、まず外国を知らなければならないと、伊豆下田でアメリカ渡航を試みます。しかし、失敗し江戸伝馬町の牢に捕えられ、長州では萩の野山獄に投獄されました。

翌年に釈放され、実家である杉家で謹慎生活を送っていた松陰は、家族からのすすめで孟子などを講じ、次第に多くの若者が参加するようになり、松下村塾を主宰することになります。松下村塾は身分や階級にとらわれず塾生として受け入れ、久坂玄瑞、高杉晋作、伊藤博文など維新の立役者となる個性豊かな人材を育てました。

吉田松陰を祀る松陰神社の敷地内には、世界文化遺産に

登録された松下村塾や吉田松陰幽囚ノ旧宅などが今も保存され、熱い議論を交わしていた志士たちの息吹を身近に感じることができ



松下村塾(松陰神社)(萩市)

## まだまだある！ 幕末維新ゆかりのスポット

はぎしょうじょうかまち

萩城城下町 萩市

高杉晋作や桂小五郎(木戸孝允)が生まれ育った萩城城下町は国の史跡で、一部は、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」に登録されています。江戸屋横町、菊屋横町と呼ばれる小路には生まれるエリア内には藩の御用達を動めた菊屋家の住宅や高杉晋作、伊藤博文が幼少期、勉学に励んだ寺として知られる円政寺などがあります。



菊屋横町



高杉晋作誕生地

史実については諸説あり、ここではその一例を掲載しています。

## ▲ 明治維新胎動の地である萩に、新たな観光起点が誕生

萩・明倫学会は、全国屈指の規模を誇った萩藩校明倫館の跡地に建てていた旧明倫小学校校舎を整備した施設で、本館には萩藩校明倫館展示室やジオパークビジターセンター、2号館には世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産(全23資産)」の萩の5資産を中心に紹介する「世界遺産ビジターセンター」や、幕末の科学技術史に関する貴重な実物資料を紹介する「幕末ミュージアム」などを開設し、萩の新たな観光起点となっています。



萩・明倫学会 萩市



萩・明倫学会(萩市)

## この頃のできごと

嘉永6年(1853年)

6月 ペリー来航

8月 幕府 品川台場の築造を開始

嘉永7年(1854年)

3月 日米和親条約締結

吉田松陰、アメリカ渡航を試みるが失敗

安政3年(1856年)

3月 吉田松陰

謹慎部屋で孟子の講義を始める

安政4年(1857年)

閏5月 島津斉彬が磯地区の洋式工場を集成館と命名





げきかするじょうい

# 激化する攘夷

尊王攘夷派を弾圧した安政の大獄に反発した志士たちが、桜田門外の変を決行。それを機に攘夷派の活動が激化することになりました。

スタンプスポット

千代田区

 ひびやとしぶんかかん  
 日比谷図書文化館

## ▲ 将軍の継嗣をめぐる対立から安政の大獄へ

アメリカから通商条約の締結を迫られるなか、幕政では次の将軍として紀州藩主の徳川慶福(家茂)を推す南紀派と、一橋慶喜(のちの徳川慶喜)を推す一橋派が対立していました。安政5(1858)年4月、幕府の最高権力職である大老に就任した井伊直弼は、次の将軍を徳川慶福(家茂)にすることで将軍継嗣問題に決着をつけ、朝廷の許しを得ずに日米修好通商条約の調印に踏み切りました。

勅許無しに調印したことに憤激した尊王攘夷派は朝廷に働きかけ、幕政の批判を強めました。これに対し、幕府は関係者を厳しく処罰する「安政の大獄」を断行します。一橋派の中心だった前水戸藩主の徳川斉昭、福井藩主の松平慶永(春嶽)らは隠居などの処分を受けます。

尊王攘夷派の志士や公卿の家臣も捕えられ、長州藩士の吉田松陰や福井藩士の橋本左内は死罪となります。左内は、春嶽にその才を認められて登用され、将軍継嗣問題でも一橋派擁護で働くとともに、幕政の改革を訴え続けました。左内の墓がある左内公園には、銅像も建立されています。



桜田門(千代田区)

## ▲ 時代の転換点となった桜田門外の変

安政の大獄で藩主をはじめ多数が処罰された水戸藩士たちは、井伊大老に対して反発を強め、安政7(万延元・1860)年3月、江戸城の桜田門外で井伊大老を襲撃し、暗殺しました。この桜田門外の変を契機に、外国に弱腰な幕府に対する攘夷派の活動はより激化することになりました。

桜田門は、現在の皇居である江戸城の内堀に造られた門の一つで、「旧江戸城外桜田門」として国の重要文化財に指定されています。桜田門がある千代田区は、かつて井伊家などの大名屋敷や旗本屋敷が並び、江戸時代から日本の中心地として発展してきました。

近代大都市に生まれ変わった今も、皇居をはじめ江戸城の面影を残しています。

スタンプを設置している日比谷図書文化館は、「千代田に見る都市の成立と展開」を総合テーマに、環境・人間・都市を基本軸として、旧石器時代から現代までの千代田の歴史を、将軍の城づくり、江戸から東京へなど、5つのテーマに分けて紹介しています。



日比谷図書文化館(千代田区)



江戸城

千代田区



左内公園(福井市)

 まだまだある！  
 幕末維新ゆかり  
 のスポット

だいこくし

大黒寺 京都市

島津家の祈禱所であった大黒寺は薩摩藩と縁が深く、文久2(1862)年の薩摩藩の内紛「寺田屋騒動」で、上意討ちとなり切腹を命ぜられた薩摩藩急進派藩士、有馬新七ら「伏見寺田屋殉難九烈士」が葬られています。墓の文字は西郷隆盛の直筆と言われています。



この頃のできごと

安政5年(1858年)

4月 井伊直弼が大老に就任

6月 日米修好通商条約締結

9月 安政の大獄が始まる

安政7年

(万延元年・1860年)

3月 桜田門外の変

文久2年

(1862年)

2月 将軍家茂と  
皇女和宮との婚儀4月 島津久光入京  
寺田屋騒動

# 公武合体

朝廷(公)と幕府(武)が一体となって  
国難に立ち向かう。「公武合体」の  
推進により時代は新たな展開を迎えます。



## スタンプスポット

福井市

ふくいしりつきょうどれきしほくぶつかん  
福井市立郷土歴史博物館

熊本市

くまもとしたばるざかせいなんせんそうしりょうかん  
熊本市田原坂西南戦争資料館

福井市

熊本市

### 幕政改革を進めた松平春嶽

桜田門外の変の後、幕府は朝廷との協調関係を推進する公武合体政策に転換します。その具体策として、将軍家茂と皇女和宮との婚儀を推し進めました。朝廷側は、婚儀の条件として、諸外国に通商条約の破棄を通告する「破約攘夷」の実行を幕府に求めました。列強からの圧力と朝廷からの要求との板挟みで、幕政はさらに混迷することになりました。

そんな中、幕政改革の中心となったのが、安政の大獄で隠居、謹慎の処分を受けていた前福井藩主の松平春嶽です。文久2(1862)年に政界に復帰して、政事総裁職に就任し、将軍後見職に就任した一橋慶喜とともに幕政改革を進めます。

福井市立郷土歴史博物館は、春嶽自筆の日記・記録・著作類や、交流のあった大名・諸藩士らの書状類など、幕末維新期の日本の歴史を知



福井市立郷土歴史博物館(福井市)

るうえで欠くことのできない資料を常設展・企画展で随時展示しています。また、福井藩主松平家の別邸であった養浩館庭園や、内堀と天守台の石垣などが残る福井城址もぜひ巡りたいスポットです。



福井城址(福井市)



養浩館庭園(福井市)



松平春嶽 福井市

### まだまだある！ 幕末維新ゆかりのスポット

いわくらくともみゆうせいきやうたく

#### 岩倉具視幽棲旧宅 京都府

孝明天皇の侍従兼近習として皇女和宮の将軍家への降嫁を推進した岩倉具視は、尊王攘夷派から佐幕派と見なされて失脚。命を狙われることになったため、元治元(1864)年から政界復帰する慶応3(1867)年までの間、幽棲したのがこの建物です。



岩倉具視幽棲旧宅 郵雲軒

### 春嶽のブレンとして改革を支えた横井小楠

幕政改革を進める春嶽を支えたのが、横井小楠です。

熊本藩士であった小楠は、藩命で江戸に遊学。水戸藩士の藤田東湖ら諸藩の士と親交を結び、帰藩後は私塾小楠堂を開きました。春嶽に請われ、安政5(1858)年福井に赴き、藩の改革指導に臨みます。近代産業を育てる殖産興業の普及を訴えて物産商会所を作らせ、茶、麻の生産、絹糸織を広めるため養蚕を奨励し、福井藩の財政建て直しを成功させました。そして、政事総裁職になった春嶽に『国是七条』を建言、幕藩体制の否定と雄藩連合による政治体制の確立などを唱えました。



横井小楠  
[国立国会図書館蔵]

故郷の熊本市には、小楠が暮らした四時軒が復元され、横井小楠記念館としてその業績を紹介しています。熊本地震の影響により、横井小楠記念館が現在休館しているため、同記念館所蔵の資料の一部を熊本市田原坂西南戦争資料館で公開しています。



西南戦争140年  
詳しくは19ページ  
をご覧ください。

熊本市  
田原坂西南戦争  
資料館(熊本市)

### 熊本市文化財災害復旧支援金

熊本地震では、熊本城をはじめ幕末維新に縁の横井小楠記念館(四時軒)など多くの貴重な文化財も大きな被害を受けています。皆様の温かいご支援をお願いします。

詳しくは [熊本市文化財災害復旧支援金](#)

検索



横井小楠 熊本市

### 文久2年(1862年)

この頃のできごと

- 2月 将軍家茂と皇女和宮との婚儀
- 4月 寺田屋騒動
- 7月 一橋慶喜が将軍後見職に、松平春嶽が政事総裁職に就任  
横井小楠が『国是七条』を建言
- 8月 生麦事件  
岩倉具視が蟄居、辞官落飾

スタンプスポット

会津若松市

あいづわかまつじょう(つるがじょう)  
会津若松城(鶴ヶ城)

桑名市

くわなしほくぶつかん  
桑名市博物館



きょうとそうらん

# 京都騒乱

攘夷派の横行で治安が乱れる京都。  
松平容保、松平定敬の兄弟が京の治安を守るようになりました。

## 松平容保が京都守護職として上洛

開国による貿易の影響で物価が急騰して庶民の不満が高まり、朝廷も幕府に攘夷の実行を求めたことから、攘夷派は勢いづきます。京都では攘夷強硬派の横行が続き、その治安を守ることが大きな課題となりました。

幕府は、京都の治安維持のために文久2(1862)年に「京都守護職」を新設し、会津藩主の松平容保に就任を要請しました。容保は固辞し、家臣も強く反対しましたが、会津藩家訓に従い最終的に受諾し、藩士約千人を率いて上洛しました。

京都の金戒光明寺は、上洛した容保が本陣を構えたところで、その配下にあった新選組も出入りしていたといわれます。境内には「鳥羽・伏見の戦い」など幕末維新にかけて命を落とした会津藩士352名が葬られている「会津藩殉難者墓地」があります。



桑名城跡 (桑名市)

## 禁門の変で兄の容保とともに長州勢を撃退した京都所司代の松平定敬

容保の上洛後も攘夷派の勢いは衰えず、長州藩は単独で攘夷を決行し、幕府にも攘夷決行を迫ります。薩摩藩と会津藩はこうした攘夷強行派を排除するため武力討伐を決行しました(八月十八日の政変「七卿落ち」)。攘夷派は池田屋で密議中に、新選組に襲われ多くの死者を出しました(池田屋事件)。勢力挽回のために入京した長州藩の急進派と守護側が御所付近で交戦となったのが、禁門の変です。

元治元(1864)年、京都所司代に任命された桑名藩主・松平定敬は、この禁門の変で会津藩兵とともに長州勢を撃退しました。定敬は京都守護職・松平容保の弟で、奇しくも兄弟で京都を守り、孝明天皇から厚い信頼を得ました。

スタンプが設置されている桑名市博物館は、松平定敬の居城であった桑名城跡の近くにあり、孝明天皇の御宸筆や京都所司代で使用された書類箱など、桑名藩や幕末に関する資料を所蔵しています。



桑名市博物館(桑名市)



金戒光明寺(京都市)



会津藩旗印 会津若松市



松平定敬 桑名市

まだまだある！  
幕末維新ゆかりのスポット



### 京都守護職屋敷跡

きょうとじゆごしやくやしきあと  
京都守護職屋敷は現在の京都府庁の場所にありました。



### 渉成園

一橋慶喜や14代将軍の家茂も度々訪れた東本願寺の飛地境内地の庭園。園内の諸殿は、禁門の変で焼失し、慶応元(1865)年頃から順次再建されました。

### 蛤御門

禁門の変では、京都御所を守る門の一つ、蛤御門の周辺も激戦地となりました。



### 京都所司代屋敷跡

きょうとじよしだいやしきあと  
京都所司代の屋敷は、二条城北一帯の広大な敷地を占めていました。

### 池田屋騒動のあと

いけだやそうどうのあと  
三条小橋の旅館「池田屋」に集まっていた尊攘派の志士たちを、新選組が襲撃し、壊滅させました。





きょうをまもれ!

# 京を守れ!

京都守護職配下で治安維持を担った新選組。  
その中心となった近藤勇、土方歳三も  
時代の波に翻弄されました。



スタンプスポット

調布市

ちょうふしきょうどはくぶつかん  
調布市郷土博物館

日野市

ひのしりつ  
日野市立  
しんせんぐみ  
新選組のふるさと歴史館

調布市

日野市

## ▲ 将軍の上洛警護のための浪士組として京に向かう

文久3(1863)年、将軍家茂は朝廷の攘夷実施の求めに



近藤勇生家跡(調布市)

じて、京都へ向かいます。この上洛に先立って、家茂の上洛警護のため浪士組が募られました。それを知った近藤勇は、試衛館の同門ら8人を率いて京都へ向かいます。浪士組の盟主・清河八郎が攘夷を企てて

いたことが発覚し、多くは江戸に戻されますが、近藤らは京に残り、京都守護職の配下となり壬生浪士組を結成、後に新選組となります。近藤は局長に就任し、京都の治安部隊として、池田屋事件などで数々の手柄を挙げました。

調布市の近藤勇生家跡には、勇の産湯に使った井戸が残っており、市史跡として保存されています。スタンプ設置場所の調布市郷土博物館では、生家の模型を展示し、近藤周助と養子縁組をした際の養子縁組状を所有者から寄託を受け収蔵しています。



調布市郷土博物館(調布市)



近藤 勇 調布市

まだまだある!  
幕末維新ゆかり  
のスポット

## やぎけ しんせんぐみ みぶとんしよきゅうせき 八木家(新選組 壬生屯所旧跡) 京都府



新選組発祥の地。足かけ3年にわたり、壬生屯所としていました。屋敷内には芹澤鴨暗殺の現場となった奥座敷や、鴨居に残る刀傷があり見学することができます。見学の後には八木家が営む京都鶴屋で屯所餅とお抹茶がいただけます。

みぶとん

## 壬生寺 京都府

「壬生大念仏狂言」や「節分会」の伝承行事で有名な壬生寺は、新選組の隊士たちの兵法修煉場にもなりました。境内の壬生塚には、局長近藤勇の像や隊士の墓があり、多くの人が詣でます。



## ▲ 新選組の“鬼の副長”土方歳三

新選組副長の土方歳三は、武州多摩の豪農の10人兄弟の末っ子として誕生。武士になることが夢だった歳三は、家伝業の行商をしながらかつ術の腕を磨き、江戸のお臺場から出稽古に訪れた近藤勇や沖田総司らと出会います。近藤らとともに浪士組に加わり、新選組では副長として局長の近藤を支え、池田屋事件などで数々の手柄を挙げました。

歳三の生まれ故郷である日野市の日野宿本陣は、江戸時代の本陣建築で、新選組の支援者であった佐藤彦五郎の屋敷だったところ。歳三と近藤、沖田ら新選組



土方歳三 日野市

の中心人物の出会いの場となった天然理心流の道場があった場所です。日野市立新選組のふるさと歴史館は、全国で唯一の新選組をテーマとした公立の展示施設で、新選組の誕生から終焉までを紹介。新選組の装束を身に付けて写真が撮れます。



日野宿本陣(日野市)



日野市立新選組のふるさと歴史館(日野市)

この頃のできごと

## 文久3年(1863年)

- 2月 浪士組が江戸を出発
- 3月 将軍家茂が二条城に入る  
壬生浪士組が誕生
- 4月 将軍家茂が攘夷期限を上奏
- 5月 長州藩が攘夷決行
- 7月 薩英戦争
- 8月 八月十八日の政変(七卿落ち)
- 9月 芹澤鴨の暗殺
- 11月 一橋慶喜が涉成園滞在

## 元治元年(1864年)

- 4月 松平定敬が京都所司代就任
- 6月 池田屋事件
- 7月 禁門の變



しものせきせんそうとちようしゅうせいとう

# 下関戦争と長州征討

下関戦争と長州征討により保守派が実権を握った長州。これを打開し幕府に対抗する契機が高杉晋作の決起でした。

スタンプスポット

下関市

しものせきしりつれきしほくぶつかん  
下関市立歴史博物館

## 高杉晋作の功山寺決起が長州藩を変える

禁門の変で朝敵となった長州藩に幕府は長州征討を実施しました。また、前年の攘夷の報復として、英・仏・蘭・米の四国連合艦隊が下関を砲撃(下関戦争)、長州藩は敗北しました。そのため、藩政は「俗論派」(保守派)が実権を握り、三家老・四参謀の切腹・斬首などにより、幕府に恭順の意を示しました。

こうした事態を打開したのが高杉晋作です。九州で藩論の立て直しを画策し、これに失敗して下関に戻った高杉晋作は、長府功山寺において僅か80名足らずの兵力で決起しました。その後、これに呼応した奇兵隊などの諸隊も萩に進軍し、民衆の支援もあって、彼ら「正義派」(改革派)が内戦に勝利しました。そして、藩論を武備恭順に統一して幕府に対抗する体制を構築し、のちに倒幕へと向かいました。



高杉晋作[国立国会図書館蔵]



功山寺(下関市)



高杉晋作 下関市



下関市立歴史博物館(下関市)

成の「奇兵隊」を設立しました。その後の下関戦争の講和談判、功山寺決起、四境戦争の小倉口の戦いでの指揮など、晋作の活躍の舞台は常に下関でした。

土佐藩を脱藩した坂本龍馬も、長府藩(長州支藩)の支援により、下関を活動の本拠としました。特に慶応3(1867)年春からは、下関阿弥陀寺町の本陣宿伊藤家において、妻のお龍と夫婦生活を送り、心穏やかな日々を過ごしています。また、龍馬は遺言でお龍の将来を三吉慎蔵に託すなど、長府藩の人々と公私にわたって親密な関係にありました。

スタンプを設置している下関市立歴史博物館は、「海峡に育まれた下関の歴史と文化」をテーマとし、長府藩政期と幕末維新期を中心に展示活動などを行っています。特に、新政府綱領八策をはじめ坂本龍馬の直筆書状や遺品は全国一の所蔵数を誇っており、下関の龍馬であったことを裏付けています。

## 高杉晋作と坂本龍馬のまち・下関

高杉晋作は、吉田松陰の松下村塾で久坂玄瑞とともに「松門の双壁」と呼ばれた人物でした。文久3(1863)年6月、下関防衛の任を命じられた晋作は、下関の白石正一郎宅で土庶混

まだまだある!  
幕末維新ゆかりのスポット



### 東行庵 下関市

「東行」と号した高杉晋作は、遺言により下関吉田の清水山に葬られました。東行庵は清水山の麓にあり、晋作を愛した「おうの」が生誕にわたって菩提を弔いました。晋作の墓は国史跡、境内には東行記念館があります。



### 前田砲台跡 下関市

下関戦争の激戦地。長州藩下関前田台場跡として国史跡となっています。連合艦隊陸戦隊に占拠された写真は有名です。下関戦争は攘夷の不可能を全国に知らしめました。



### 長州藩邸跡 京都市

攘夷派の重要な拠点であった長州藩邸。「禁門の変」で敗れた長州藩は、自ら藩邸に火をつけて京都から逃れました。



# 薩長同盟

禁門の変で敵対していた薩摩と長州が坂本龍馬らの斡旋で同盟を結びました。



スタンプスポット



鹿児島市

鹿児島市

かごしまし いしん かん  
鹿児島市維新ふるさと館

## 龍馬が間を取り持って薩長同盟が成立

軍備を増強する長州の再征準備を幕府が進めるなか、土佐脱藩の坂本龍馬、中岡慎太郎らは、長州を救うために薩摩との和解に奔走します。龍馬が薩摩の力を借りて長州の武器調達を助けるなどで信頼を築き、慶応2(1866)年1月、薩長同盟が成立します。

薩長同盟の交渉で主要舞台の一つになったと伝えられるのが、薩摩藩邸(二本松屋敷)です。長州の桂小五郎と薩摩の西郷吉之助が膝を突き合わせてもなかなか交渉が進みませんでした。龍馬が間を取り持ち小松帯刀邸で同盟の成立にこぎつけました。

幕末維新の政局の舞台となった薩摩藩邸跡地は、現在同志社大学の一部になっています。



薩摩藩邸(二本松屋敷)  
(京都市)

## まだまだある！ 幕末維新ゆかり のスポット



### おおくぼとしみちお た ひ 大久保利通生い立ちの碑

鹿児島市



日本の近代化に尽力した大久保利通が、少年期に3歳上の西郷隆盛と同じ郷中で育った場所です。高麗町の川岸の近くに生まれた利通は、間もなくここ加治屋町に移り住みました。

### きゅうしゅうせいいかんきかいこうじょう 旧集成館機械工場

鹿児島市



日本で最も古い洋式石造工場で、現在は尚古集成館本館として島津家の歴史・文化などの博物館となっています。2015年に「明治日本の産業革命遺産」の構成資産「旧集成館」として、世界文化遺産に登録されました。

### さいごうたかもり つくみちたんじょうち 西郷隆盛・従道誕生地

鹿児島市



西郷隆盛は、薩摩藩の下級武士の家に生まれました。隆盛の弟、従道は維新後、数々の大臣を歴任しました。誕生地は市民が憩う公園として親しまれています。



西郷隆盛  
鹿児島市

鹿児島市維新ふるさと館(鹿児島市)



## 西郷から維新の偉人たちが生まれた鹿児島のみち

薩摩藩は、幕末の「四賢侯」と称えられた島津斉彬、その弟の久光が中心となって政局を左右し、西郷隆盛、大久保利通など明治維新の原動力となる人材を輩出してきました。

スタンプを設置している鹿児島市維新ふるさと館は、薩摩の幕末から明治維新への流れがひと目で分かる歴史観光施設です。多彩な演出で2本のドラマが楽しめる維新体感ホールをはじめ、篤姫コーナーや幕末探訪・郷中教育コーナーなど、テーマごとに資料を展示しています。郷中には、藩士の子どものための教育制度で、文武を奨励し、尚武の気風を育てました。

維新ふるさと館がある甲突川沿いには、歴史ロード“維新ふるさとの道”が整備されており、周辺には、武家屋敷や西郷隆盛・従道誕生地、大久保利通生い立ちの地などがあります。

## この頃のできごと

### 元治元年(1864年)

- 7月 禁門の変
- 8月 長州征討(第一次)  
下関戦争
- 12月 高杉晋作の功山寺決起



### 慶応元年(1865年)

- 3月 長州、藩是を武備恭順
- 4月 幕府、長州再征を発令
- 10月 安政通商条約を勅許  
板倉勝静が老中に再任

### 慶応2年

- (1866年)
- 1月 薩長同盟の成立





りょうま、かごしまへ

# 龍馬、鹿児島へ

妻のお龍とともに鹿児島へ向かった坂本龍馬。  
それは日本初の新婚旅行ともいわれています。

スタンプスポット

霧島市

しおひたしおんせんりょうまこうえん  
塩浸温泉龍馬公園

## 龍馬が寺田屋で襲われる

薩長同盟の仲介という大仕事を終えた坂本龍馬は、定宿としていた伏見の船宿、寺田屋で幕府（伏見奉行所）の捕方に襲われました。妻であるお龍の機転で何とかその難を逃れますが、手に深い傷を負いました。長府藩の三吉慎蔵に助けられて

捕方から逃れる途中、三吉は、龍馬を濠川端の材木小屋に隠し、伏見薩摩藩邸に助けを求めに行きます。薩摩藩邸へはすでに事件のことをお龍



寺田屋騷動址(京都市)

が知らせていたので、藩邸留守居役の大山彦八は薩摩藩の旗印を掲げた船を出して龍馬を無事救出します。

伏見では、龍馬が襲われた寺田屋から身を隠した材木小屋跡、伏見薩摩藩邸跡へと、その道をたどることができ、150年前の緊迫を、身近に感じることができるでしょう。

伏見薩摩藩邸跡  
(京都市)坂本龍馬避難の材木小屋跡  
(京都市)

まだまだある！  
幕末維新ゆかり  
のスポット

たちほのみね

## 高千穂峰

霧島市

天上界から神が地上に降り立ったとき、第1歩をのしるした山として知られています。霧島を訪れた際、龍馬はお龍とともにこの高千穂峰に登山しています。



さいごうこうえん

## 西郷公園

霧島市

鹿児島空港近くにある公園で、人物像としては日本一の大きさの西郷隆盛像を中心に、西南戦争を描いた錦絵、西郷隆盛や明治維新に関する資料、軍服、西郷さんまつわるエピソードなどが展示されています。



塩浸温泉龍馬公園(霧島市)

## お龍とともに水入らずの時間を過ごした塩浸温泉

薩摩藩邸にかくまわれていた龍馬は、薩摩(鹿児島)での療養をすすめられ、薩摩へ帰国する西郷隆盛らとともに鹿児島へ向かいます。その鹿児島でもっとも長く逗留した場所が傷に効果があるという霧島の塩浸温泉です。霧島では高千穂峰に登山したりと、龍馬はお龍とともにかけがえのない時間を過ごしました。これが、日本初の新婚旅行ともいわれています。

塩浸温泉は、現在、塩浸温泉龍馬公園として整備され、激動の幕末を生きた龍馬の事跡パネルや書籍(複製)等で展示している龍馬資料館「この世の外」、龍馬が湯治した源泉を利用した「塩浸温泉」、「龍馬とお龍の縁結びの足湯」、「坂本龍馬・お龍新婚湯治碑」のほか、龍馬が入ったとされる湯船があります。



高千穂峰 霧島市

## 慶応2年(1866年)

この頃のできごと

- 1月 薩長同盟の成立、龍馬寺田屋で襲撃される
- 3月 龍馬、鹿児島へ
- 6月 長州再征(第二次幕長戦争)
- 7月 將軍家茂が病没
- 12月 徳川慶喜15代將軍宣下  
孝明天皇崩御

いろはまるじけん

# いろは丸事件

海援隊が乗り込む「いろは丸」が紀州藩「明光丸」と衝突。賠償金をめぐり、龍馬は紀州藩と福山・長崎で交渉します。



スタンプスポット

長崎市

ながさきしかめやましやちゅうきねんかん  
長崎市亀山社中記念館

長崎市

## いろは丸事件は日本で最初の海難審判事故

慶応3(1867)年4月、坂本龍馬ら海援隊が乗り込む「いろは丸」が紀州藩「明光丸」と瀬戸内海で衝突。港湾設備の整った鞆の浦に曳航される途中に沈没しました。龍馬は鞆の浦で賠償交渉を開始しましたが、談判がまとまらぬうちに明光丸が長崎に向けて出港。長崎での賠償交渉は、聖福寺などで行われ、土佐藩の後藤象二郎も加わります。龍馬は万国公法を持ち出すなど、粘り強く交渉し、ついに賠償金を勝ち取ります。これが日本で最初の海難審判事故とされています。



いろは丸展示館・右端(福山市)

福山市の鞆の浦には、龍馬や紀州藩が宿舎とした場所(円福寺等)や談判した場所(福禅寺対潮楼)が残っており、いろは丸展示館では、近年の潜水調査により引き揚げられた「いろは丸」の船体部品などの遺物が公開されています。

まだまだある！  
幕末維新ゆかりのスポット

## グラバー園 長崎市

伊藤博文らの英国留学を手伝うなど、幕末の志士たちを陰で支えた貿易商、トーマス・ブレーク・グラバーが住んでいた日本最古の本造洋風建築、旧グラバー住宅をはじめ、6つの明治期の洋館を移築復元しています。



## 聖福寺 長崎市

土佐藩・紀州藩のトップがこの寺に集まり賠償交渉が行われました。境内には長崎屈指の大きさの大梵鐘、ジャガタラお春の碑などがあります。



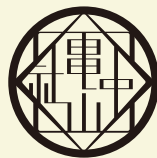
鎖国時代、日本で唯一西洋に開かれていた貿易の窓口である出島。19世紀初頭の江戸時代から幕末開国後、明治へと時代をたどる遺構や建物などを見学できます。

出島 長崎市

## 龍馬が結成した亀山社中ゆかりの品々を展示

いろは丸事件の約2年前の慶応元(1865)年夏頃、龍馬は薩摩藩や長崎商人・小曾根家の援助を受け、日本最初の商社といわれる「亀山社中」を結成しました。これが海援隊の前身となります。

長崎市の亀山社中記念館は、亀山社中の遺構として現在に伝わる建物を当時の姿により近い形で整備したもので、龍馬のブーツなどのレプリカや、書状の写し、亀山社中の志士達の写真等が展示されているほか、隠し部屋として利用されていたと思われる中2階の様子も階段上部から見る事ができます。



長崎市  
亀山社中記念館

長崎市

この頃のできごと

慶応3年(1867年)

4月 いろは丸事件

5月 いろは丸事件交渉決着



しこうかいぎ

# 四侯会議

幕末の政治に大きな影響力をふるった四賢侯。  
幕府の終焉が近づくなか、その会議が開かれました。

## スタンプスポット

宇和島市

うわじましりつたてはくぶつかん  
宇和島市立伊達博物館

上田市

うへだしりつたてはくぶつかん  
上田市立博物館



**▲多難な幕政で活躍した宇和島藩主の伊達宗城**  
福井藩主松平慶永(春嶽)、土佐藩主山内豊信(容堂)、薩摩藩主島津斉彬、宇和島藩主伊達宗城は、ペリー来航以来、多難な幕政でその手腕を発揮し、幕末の「四賢侯」と称えられ

ました。斉彬亡きあとは、その弟の島津久光がその後を継ぎ、幕政を左右する影響力を持ちました。

慶応3(1867)年5月、四侯は連絡を取り合って京に集まり、將軍慶喜と話し合いました。議題は兵庫の開港と長州処分をめぐるもので、四侯は兵庫開港の支援を約束し、

慶喜は長州藩の寛大な処置をすることが決まりました。

四賢侯の一人である伊達宗城は、藩政においては蘭学者の高野長英を招き砲台建造を指導させるとともに、村田蔵六(大村益次郎)を招いて軍艦建造を研究させるなど、藩の改革や殖産興業の発展に手腕を振りました。

宇和島市立伊達博物館には、伊達家が入国して以来の歴代藩主の文化遺産を展示公開。特に幕末の政局で活躍した宗城の時代は、他に



伊達宗城  
宇和島市

見ることで  
できない貴重な文化財が残されています。



宇和島市立伊達博物館(宇和島市)

まだまだある！  
幕末維新ゆかりのスポット

### 赤松小三郎生家跡

上田市



赤松小三郎の生家である芦田家跡は上田市木町にあり、周辺の道は「赤松通り」とも呼ばれ、地元の人々により説明板が設置されています。

### 赤松小三郎遭難の地

京都府



幕末の洋式兵学者・赤松小三郎は、京都で私塾を開いて英国式兵学を教えました。帰藩直前の慶応3(1867)年9月、下京区東洞院西鍵屋町で暗殺されました。

### 大村益次郎居住地跡

宇和島市



伊達宗城に招かれて周防国(山口県)から宇和島に来た大村益次郎は、西洋兵書の翻訳・研究・軍艦設計などに成果をあげました。居住地の近くにはシーボルトの娘イネの住居跡もあります。



上田市立博物館(上田市)



赤松小三郎  
上田市

この頃のできごと

慶応3年(1867年)

- 4月 高杉晋作病没
- 5月 四侯会議

赤松小三郎が  
松平春嶽へ建白

# 船中八策

土佐藩は坂本龍馬の船中八策を入れ、大政奉還を建白することを決定。その一方で、新政府樹立に向けた薩摩と土佐の盟約が結ばれていました。



スタンプスポット



高知市

高知市

こうちりつりょうま  
高知市立龍馬の生まれた  
まちなか  
まち記念館

## 龍馬の「船中八策」が土佐藩の方針となる

長州と薩摩が討幕による新政府の実現に向けて進むなか、土佐藩は前藩主の山内容堂が公武合体の考えから抜け出ていませんでした。その容堂から信任を受けて藩政の中枢にいた後藤象二郎は、激変する幕末の情勢で、土佐藩が政界の中心に居るためには薩長同盟を実現した坂本龍馬の力が必要と考えました。後藤は龍馬の率いる亀山社中を「海援隊」として、土佐藩の援助を受けられるようにするなど、その活動を支援します。

慶応3(1867)年、龍馬は土佐藩船「夕顔」の船内で、大政奉還論のほか、議会の開設、外国との新条約の締結、憲法の制定など8項目からなる政治綱領を後藤象二郎に提示します。後藤は「船中八策」と呼ばれるこの策に感心し、山内容堂に進言します。

※近年、船中八策は、存在しなかったという説も有力です。



後藤象二郎 [港区立港郷土資料館蔵]



坂本龍馬 高知市



高知市立龍馬の生まれたまち記念館(高知市)

## 大政奉還後の新政府の構想を話し合う

土佐藩では、将軍慶喜に大政奉還を求めたことを薩摩藩にも伝え、協力を求めました。この会談には、土佐藩から後藤ら、薩摩側から小松帯刀、西郷隆盛、大久保利通らが出席し、坂本龍馬と中岡慎太郎も立ち会いました。土佐藩の意向である大政奉還に向けて協力するという、薩土盟約が結ばれます。

明治維新の原動力となった長州と薩摩、土佐などを結び付けるキーマンとして活躍した龍馬。生まれ故郷の高知市上町にある高知市立龍馬の生まれたまち記念館は、龍馬誕生から脱藩までの少年時代を中心とした当時のまちなかの様子や歴史を、パネルや模型で分かりやすく展示・紹介しています。中庭には、坂本龍馬像・坂本乙女像・近藤次郎像があり、人気の撮影スポットとなっています。

また、京都にある酢屋は享保6(1721)年より290年余り続く材木商で、幕末、勤王の志士たちの理解者であった6代目酢屋嘉兵衛は、坂本龍馬や海援隊隊士を命がけてかくまいました。龍馬は酢屋の2階に海援隊の京都本部を置き、陸奥宗光や長岡謙吉など多くの隊士が投宿し、活動拠点としていました。龍馬が投宿していた2階は、現在、龍馬と酢屋の歴史を紹介する「ギャラリー龍馬」となり、その歴史は今も続いています。



酢屋(京都市)

まだまだある！  
幕末維新ゆかり  
のスポット

こうちじょう  
高知城

慶長6(1601)年に土佐に侵入した山内一豊が築城。残存する天守他9棟は、重要文化財に指定されています。本丸御殿が現存しているのは、全国でも高知城と川越城のみです。



史実については諸説あり、ここではその一例を掲載しています。

慶応3年(1867年)

この頃のできごと

- 6月 龍馬が船中八策を示す  
薩土盟約が成立
- 10月 土佐藩が大政奉還の建白書を提出



たいせいほうかん

# 大政奉還

土佐藩は「大政奉還建白書」を幕府に提出。  
將軍慶喜はこれを受け入れて、  
二条城で大政奉還を諮問します。

スタンプスポット

京都市

もとりきゅうにじょうじょう

元離宮 二条城



元離宮 二条城(京都市)

264年にわたって続いた徳川の世と武家政権の時代は、ついにここに幕を下ろすことになりました。

## 大政奉還を表明した二条城二の丸御殿大広間

二条城は、徳川家康が、慶長8(1603)年に、京都御所の守護と將軍上洛時の宿所として造営した城です。三代將軍家光の時代に城の拡張・殿舎の整備に着手し、寛永3(1626)年、本丸・二の丸・天守が完成し、現在の規模となります。その年には後水尾天皇が二条城に行

幸されました。二条城は京都における江戸幕府の権威の象徴でもありました。

徳川の世と武家政権の時代に幕を下ろす歴史的な舞台となった二の丸御殿は、江戸時代の武家風書院造の代表的なもので、建物面積3,300平方メートル、部屋数33、畳は800畳あまり敷かれています。大広間一の間・二の間は將軍が諸大名と対面した部屋で、二の丸御殿の中で最も格式の高い部屋です。

明治17(1884)年に離宮となり、昭和14(1939)年に京都市に下賜され、平成6(1994)年には、ユネスコ世界文化遺産に登録されました。

## 山内容堂の建白を將軍慶喜が受け入れる

慶応3(1867)年10月3日、後藤象二郎は山内容堂<sup>やまうちようどう</sup>の署名が入った「大政奉還建白書」を老中の板倉勝静<sup>いたくらかつまよ</sup>に提出しました。慶喜は幕臣などに諮問し、これを受け入れることを決意。10月13日に京都にいた10万石以上の大名家の重臣(40藩50余名)を二条城二の丸御殿大広間に集めて、政権を朝廷に返上するとう「大政奉還」を諮問しました。翌14日に「大政奉還」の上表を天皇に上奏し、15日に勅許されました。



元離宮 二条城

京都市

この頃のできごと

### 慶応3年(1867年)

- 10月 土佐藩が大政奉還の建白書を提出  
徳川慶喜が二条城で大政奉還を諮問  
大政奉還を上表  
大政奉還勅許
- 11月 近江屋事件
- 12月 王政復古の大号令



二条城 二の丸御殿大広間(京都市)



りようましす

# 龍馬死す

坂本龍馬が京都の近江屋で刺客に襲われ無念の最期を遂げます。



スタンプスポット

京都市

幕末維新ミュージアム  
りようぜんれきしかん  
靈山歴史館

和歌山市 わかやま歴史館

京都市

和歌山市

大政奉還の後、坂本龍馬は新たな政治を担う新政府の設立に向けて、京都で活動していました。前年の寺田屋襲撃事件など命を狙われていた龍馬は、海援隊の京都本部があった酢屋から、土佐藩邸に近い近江屋に移っていました。

慶応3(1867)年11月15日、夕刻に中岡慎太郎が龍馬を訪ね、今後の政局などを論じていたところ、十津川郷士と称する者に襲撃され、龍馬はその場で絶命。中岡も二日後に亡くなりました。暗殺には新選組説が長く信じられてきましたが、現在は、京都見廻組説が最有力となっています。

龍馬暗殺の後、薩摩・長州・土佐などは新政府の早期確立を目指し、岩倉具視などの公家と連携して政変を実行。慶応3(1867)年12月9日、明治天皇臨席のもと、王政復古の号令が出されます。その夜、新政府最初の会議である「小御所会議」が開かれ、慶喜の官位と徳川家の所領を返上する「辞官納地」が決定しました。



坂本龍馬・中岡慎太郎  
遭難之地碑(京都市)

## 龍馬暗殺の刀や直筆の書状なども展示する 靈山歴史館

幕末維新ミュージアム 靈山歴史館は、幕末から明治維新期の歴史を主として研究する全国初の専門博物館として昭和45(1970)年に開館。龍馬暗殺に使用したとされる刀や龍馬

直筆の書状、近藤勇の鎖帷子、高杉晋作の鉄扇などの志士たちの遺品をはじめ、孝明天皇の御宸筆など天皇家や徳川幕府の史料も多数、所蔵・展示されています。



幕末維新ミュージアム 靈山歴史館(京都市)

## 龍馬とともに海援隊で活躍した 陸奥宗光

海援隊で龍馬を助け、手腕を発揮していたのが、陸奥陽之助(宗光)です。陸奥は紀州藩を脱藩し、勝海舟の主宰する海軍塾で龍馬と知り合い、共に倒幕運動に奔走します。龍馬暗殺では、紀州藩士三浦休太郎が黒幕と思われ、襲撃して新選組と激闘になった天満屋事件を起こしています。明治維新後は新政府に入り、駐米公使など外交で活躍。第二次伊藤内閣では、外務大臣として不平等条約の改正に尽力し、条約改正や下関条約締結に多大な貢献を果たしました。



新選組の「誠」の旗

京都市



陸奥宗光  
[和歌山市立博物館蔵]

和歌山城

和歌山市



まだまだある！  
幕末維新ゆかり  
のスポット

## 京都靈山護国神社

京都市

坂本龍馬、木戸孝允、中岡慎太郎、久坂玄瑞、高杉晋作などの志士たちのほか、日清戦争、日露戦争、大東亜戦争(太平洋戦争)などの戦没者も祀られています。



きょうとごしよ

京都御所

王政復古の号令が発せられた御所には、新政府最初の会議である「小御所会議」の舞台となった小御所などがあります。



わかやま歴史館

和歌山市

和歌山城内の一角にある「わかやま歴史館」は、陸奥宗光や和歌山城に関する資料が展示されている歴史展示室のほか、観光案内所、観光土産品センターがあり、和歌山観光の拠点になっています。



わかやまじょう

和歌山城

慶応2(1866)年の第二次幕長戦争において、先鋒総督として征長軍を指揮した紀州藩14代藩主徳川茂承(もちつぐ)の居城。姫路城、松山城と並んで、日本三大連立式平山城と称されています。

高梁市

ひつちゅうまつやまじょう  
備中松山城

ぼしんせんそう

## 戊辰

大坂から討薩を目指して進軍した旧幕府軍と新政府軍が鳥羽と伏見で衝突。鳥羽・伏見の戦いが始まりました。

### ▲ 戊辰戦争の緒戦となる鳥羽・伏見の戦い

徳川慶喜は、王政復古の政変後、混乱を避けるために京を離れ大坂城に移りましたが、旧幕府方には、小御所会議での徳川慶喜の辞官納地の決定に強い不満がありました。旧幕府側



御香宮神社(京都市)

の庄内藩兵が江戸の薩摩藩邸を焼き討ちしたことがきっかけとなり、旧幕府軍は薩摩を討つために京都を目指して進軍を始め、慶応4(1868)年1月3日、鳥羽と伏見で新政府軍と戦争が始まりました。薩摩軍が

御香宮神社に本陣を構え、すぐ南にあった旧幕府軍の本陣(旧伏見奉行所)へ砲弾を浴びせました。この「鳥羽・伏見の戦い」を緒戦に、1年半にわたる内戦が戊辰戦争です。

### ▲ 幕府の終焉を見届けた老中、板倉勝静

元治元(1864)年の禁門の変で京都から攘夷派を一掃し、長州征討で長州が恭順を示したことで、幕府の権威は安定するかに見えたが、朝廷が反対する条約勅許と兵庫の早期開港を要求する列強の圧力が強まり、幕府はその対応に苦慮することになります。慶応元(1865)年9月、一橋慶喜の説得で安政通商条約の勅許を得ますが、朝廷に強行であった老中を罷免しました。それに代わって老中に再任されたのが、備中松山藩7代藩主の板倉勝静です。

板倉勝静は、天保13(1842)年に備中松山藩主板倉勝職の養子となり、嘉永2(1849)年に襲封すると、儒学者山田方谷を登用し藩政改革を断行しました。その後、幕政に関与し寺社奉行・老中に任命されました。慶応元(1865)年に老中に再任され、翌年徳川慶喜が15代将軍に就任すると老中首座になり、大政奉還で幕府の終焉を見届けました。

勝静の居城であった備中松山城は、全国の山城で唯一天守が現存し、雲海に浮かぶ「天空の城」という幻想的景観で全国的に脚光を浴びています。



備中松山城(高梁市)



備中松山城

高梁市

板倉勝静  
[高梁市歴史美術館蔵]

まだまだある!  
幕末維新ゆかり  
のスポット

ほうこくえん

方谷園 高梁市

備中松山藩の藩政改革で大きな功績をあげた山田方谷が葬られた山田家の墓所。「方谷園」として整備され、隣接する「方谷の里ふれあいセンター」には、方谷が幼少期に書いた扁額などの資料が展示されています。



この頃のできごと

慶応4年(1868年)

【明治元年(1868年)】

- 1月 鳥羽・伏見の戦い  
備中松山城無血開城
- 3月 西郷・山岡の会見  
江戸城無血開城会談  
五箇条の御誓文を布告
- 5月 奥羽越列藩同盟が結ばれる  
上野彰義隊の戦い
- 9月 明治に改元  
会津戦争終結

明治2年(1869年)

5月 戊辰戦争終結

# 戦争

戊辰戦争の舞台は江戸から東北地方、蝦夷地の箱館と続きついに終結を迎えます。



スタンプスポット

静岡市

しずおかしぶんがさいりょうかん  
静岡市文化財資料館

静岡市

## ▲ 江戸城の無血開城の行方を決めた二つの会談

鳥羽・伏見の戦いで勝利した新政府は、慶喜追討令を出し、東国に進軍を始めます。東征軍参謀の西郷隆盛は東海道を進軍して駿府(静岡)に入り、江戸城の総攻撃の準備を整えます。徳川家の陸軍総裁となっていた勝海舟は、早期停戦と江戸城無血開城のため山岡鉄舟を遣わして西郷と交渉します。

西郷・山岡の会見を受け、江戸に入った西郷は勝と田町の



西郷・山岡会見の地(静岡市)

薩摩藩江戸藩邸で、江戸城の開城交渉を行います。総攻撃の準備が進むなか、緊迫の交渉が行われ、歴史的な「江戸城無血開城」が実現します。

静岡市文化財資料館は、静岡浅間神社にゆかりのある資料を中心に、静岡市と関わりの深い徳川家、今川家関係資料などを保管、展示しています。また、將軍を退いて後、約30年間静岡で穏やかな余生を送り、静岡市民から「けいぎさん」と呼ばれて親しまれた徳川慶喜に関する資料を館内の一部で展示中です。



徳川慶喜 静岡市



静岡市文化財資料館(静岡市)

## ▲ 約1か月にわたる激戦となった会津戦争

薩長主体の新政府に対する会津の恭順は受け入れられず、慶応4(1868)年5月、奥羽越列藩同盟が結ばれ、東北北越の諸藩は、武力討伐にこだわる新政府に対して抵抗を示します。しかし、戦闘が始まると次第に脱退・恭順・降伏する藩が相次ぎました。8月下旬に会津攻めが始まると旧幕府軍は会津若松城(鶴ヶ城)に籠城します。この会津戦争は約1か月にわたる激戦となりましたが、9月22日、新政府軍に降伏し開城しました。

会津若松城(鶴ヶ城)は、取り壊されましたが、昭和40(1965)年に再建、平成13年には天守閣に続く建物「干飯糧・南走長屋」が江戸時代の工法・技術を用いて復元されました。

また、平成23年には赤瓦へのふき替えが完了し幕末当時の姿を再現し、現存する天守閣では国内唯一の赤瓦の天守閣としてよみがえりました。

天守閣の内部は郷土博物館となっており、1,000点を超える収蔵資料などをはじめ、文化財等のテーマ展示を通して会津の歴史を多角的に紹介するとともに、室町時代から続く歴代城主の変遷などを解説しています。

京都守護職拜命にはじまる会津側から見た幕末史をパネルや映像を駆使してわかりやすく解説しています。



会津若松城(鶴ヶ城)(会津若松市)

まだまだある!  
幕末維新ゆかり  
のスポット



ふげつろう  
浮月楼 静岡市

駿府に隠棲した徳川慶喜の屋敷跡に建つ料亭。慶喜が愛した日本庭園が観賞できます。

あみだし  
阿弥陀寺 会津若松市

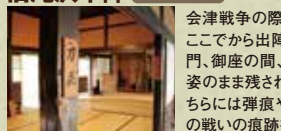


会津戦争で戦死した会津藩士の遺骸は、終結の約半年後に埋葬許可が下りました。阿弥陀寺には、およそ千三百柱にのぼる遺骸が埋葬され、今でも春・秋の彼岸に供養会が行われています。

ひゃっこたいしゅうきゅうしゅう はか  
白虎隊十九士の墓 会津若松市

会津戦争の折、16~17歳の少年たちで編成された白虎士中二番隊19人が戸の原合戦場から退却し、飯盛山に着いたとき鶴ヶ城の天守閣は黒煙の中に見え隠れして、「城も落ちた。もはやこれまで」と、全員が自決を決心しましたが、飯沼貞吉のみが一命をとりとめ、白虎隊の物語は広く人々に知られるところとなりました。

きゅうたきざわほんじん  
旧滝沢本陣 会津若松市



会津戦争の際に本陣となり、白虎隊もここでから出陣していきました。御入御門、御座の間、御次の間などが当時の姿のまま残されており、建物のあちらこちらには弾痕や刀傷があり、幕末当時の戦いの痕跡をとどめています。

西南戦争140年!

## 西南戦争と日本赤十字社の誕生

熊本市

## 西南戦争で最大の激戦地となった田原坂

大政奉還から10年後の明治10(1877)年、旧薩摩藩士を中心とする士族が西郷隆盛を盟主にして、武力反乱を起こしました。征討令が発せられた2月19日から西郷隆盛の自刃で幕を下ろす9月24日まで、約7か月間にわたった西南戦争は、国内最後の内戦であり、名実ともに武士の時代に終わりを告げる戦いでした。最大の激戦地になった田原坂に建つ「熊本市田原坂西南戦争資料館」は、映像・音・振動・ジオラマで戦いの様子をリアルに再現した体感展示や、実際に使われた銃や弾、古文書などで、西南戦争の時代背景や意義について分かりやすく展示しています。

田原坂での悲惨な様子を知った元老院議員の佐野常民は、当時ヨーロッパで既に活動していた赤十字のような敵味方の区別なく救護する組織を創ろうと、意を決して熊本に赴き、官軍の征討総督である有栖川宮に直接願いで、設立の許可を受けました。これが日本赤十字社の前身となる「博愛社」で、熊本市は日本赤十字社発祥の地でもあります。



熊本市田原坂西南戦争資料館のある田原坂公園には、激戦の跡がも復元されています。



寺崎武男  
「博愛社創設許可の図」  
(日本赤十字社提供)

大阪市もプロジェクト参画!

## 江戸幕府最後の牙城、大坂城

大阪市

## 徳川幕府の最後を見届けた将軍の城

江戸時代、大坂は江戸や京都と同じく幕府の直轄都市で、幕末の大坂城は将軍の城として、重要な役割を担いました。元治元(1864)年の第一次長州戦争では、大坂城を拠点に戦闘態勢が整えられ、慶応2(1866)年の第二次長州戦争では14代将軍徳川家茂が大坂城で指揮をとりましたが、城内で死去してしまいます。将軍職を継いだ徳川慶喜は、大坂城に各国公使を招くなど積極的な外交活動を展開しました。慶応3(1867)年10月の大政奉還、12月の王政復古で政権の主導権を失うと、慶喜は巻き返しをはかるべく大坂城に入り、翌年1月の鳥羽・伏見の戦いで軍勢を京都に差し向けました。しかし旧幕府軍は敗北して慶喜は大坂城を脱出。これが徳川幕府の実質的な瓦解となります。

大坂城天守閣では平成30(2018)年12月27日まで、幕末最後の牙城だった大坂城の魅力を発信すべく「幕末・維新150年」キャンペーンとして、イベントや展示などを通じ幕末から明治維新期の大坂(大阪)と大坂城(大阪城)に関する出来事や活躍した人物、ゆかりの場所などを紹介しています。



大阪城天守閣

開催中のイベント

- 高知市** 展示公開 **企画展「幕末・明治の錦絵展」**【~7/2まで】  
高知市立自由民権記念館(TEL:088-831-3336)
- 京都市** 展示公開 **初夏の企画展「幕末動乱!!龍馬、新選組」**【~7/9まで】  
靈山歴史館(TEL:075-531-3773)
- 宇和島市** 展示公開 **コレクション展「花開く大名文化—文武の世界—」** **【詳細▶】**  
**ダテハク企画展「TSUWAMONO—兵—」**【いずれも~9/10まで】  
宇和島市立伊達博物館(TEL:0895-22-7776)
- 高知市** 展示公開 **企画展「汗血千里の駒」が描く坂本龍馬**【~9/18まで】  
高知市立自由民権記念館(TEL:088-831-3336)
- 静岡市** 展示公開 **特別展示「徳川慶喜と静岡—慶喜を支えた幕臣たち—」**【~12/24まで】  
静岡市文化財資料館(TEL:054-245-3500)
- 福山市** その他 **いろは丸事件150年 観光キャンペーン**【~3/31まで】  
鞆の浦(いろは丸展示館(ほか) 問合せ先/福山市観光課(TEL:084-928-1043)
- 高知市** イベント **龍馬の生まれたまち歩き~土佐っ歩~**【**【通年開催】** **【詳細▶】**】  
(土佐弁ガイドと史跡を巡る体験型イベント)  
高知市立龍馬の生まれたまち記念館(TEL:088-820-1115)

6月

- 京都市** 展示公開 **展示・収蔵館 第2期展示事業 大政奉還150周年記念展示第1弾 絵巻の舞台(黒書院)一の間、二の間の障壁画**【~9/3まで】  
元離宮二条城(TEL:075-841-0096)

7月

- 静岡市** 展示公開 **特別展覧会「没後150年 坂本龍馬」**【~8/27まで】  
静岡市美術館(TEL:054-273-1515)
- 京都市** イベント **世界遺産 二条城 夏の早朝開城**【~8/31まで】  
元離宮二条城(TEL:075-841-0096)
- 京都市** イベント **京の夏の旅キャンペーン**  
○文化財特別公開 東本願寺飛地境内地 涉成園「蘆菴」  
○定期観光バス特別コース~京の別邸と庭園美をたずねて~  
【~9/30まで】 **【詳細 裏表紙へ▶】**  
問合せ先/京都市観光協会(TEL:075-213-1717)

7月 (11日, 13日, 15日, 16・20・23日, 22日, 25日)

- 京都市** 展示公開 **夏の特別展「新選組、義に生きる!!第一期」**【~9/3まで】  
靈山歴史館(TEL:075-531-3773)
- 静岡市** 展示公開 **静岡市文化財資料館 特別公開「御橋組血盟書」**【~9/3まで】 **【詳細▶】**  
静岡市文化財資料館(TEL:054-245-3500)
- 宇和島市** 展示公開 **山家清兵衛展**【~8/4まで】  
宇和島市立伊達博物館(TEL:0895-22-7776)
- 京都市** イベント **坂本龍馬も通った正門から入ろう**【3日間のみ】  
岩倉具視幽樓旧宅(TEL:075-781-7984)
- 高知市** 展示公開 **維新の夜明け展vol.3「龍馬暗殺150年」**【~8/20まで】  
高知市立龍馬の生まれたまち記念館(TEL:088-820-1115)
- 京都市** 展示公開 **特集展示 大政奉還150年記念「鳥羽伏見の戦い」**【~9/3まで】  
京都国立博物館(TEL:075-525-2473(テレホンサービス))

8月

- 京都市** イベント **京の七夕 二条城夏のライトアップ**【~8/14まで】 **【詳細▶】**  
元離宮二条城 問合せ先/二条城夏季ライトアップ事業委員会(TEL:075-746-2255)
- 京都市** イベント **鳥羽伏見の戦い150年目の祈り 伏見万灯流し**【当日のみ】  
寺田屋浜 問合せ先/伏見観光協会(TEL:075-622-8758)
- 大阪市** イベント **豊国踊りでええじゃないか**【当日のみ】  
大阪城天守閣前本丸広場 問合せ先/大阪城天守閣(TEL:06-6941-3044)
- 福山市** イベント **いろは丸YOSAKOI ~150年の時をこえて~**【当日のみ】  
福山市中央公園(ほか) 問合せ先/福山市観光課(TEL:084-928-1043)
- 高梁市** イベント **備中たがはし松山踊り**【3日間のみ】  
問合せ先/(一社)高梁市観光協会(TEL:0866-21-0461)
- 京都市** イベント **東アジア文化都市2017京都「アジア回廊 現代美術展」**【~10/15まで】  
元離宮二条城、京都芸術センター  
問合せ先/京都いつでもコール(TEL:075-661-3755)

**宇和島市**【~9/10】  
コレクション展  
「花開く大名文化—文武の世界—」



伊達宗城銅像  
宇和島藩8代伊達宗城所用の甲冑や、宗城が幕末の刀工・泰龍齋宗寬に打たせた刀などを展示します。また、宇和島藩の軍備の近代化を目指していた宗城の、軍事研究に関する直筆の書なども併せて展示します。

**高知市**【通年開催】  
龍馬の生まれたまち歩き~土佐っ歩~



まち歩き風景(イメージ)  
土佐弁の観光ガイドとともに、龍馬が生まれ育った土佐の風土や歴史、文化に触れながら、高知のまちを歩きます。

**静岡市**【7/13~9/3】  
静岡市文化財資料館 特別公開  
「御橋組血盟書」



晩年を現静岡市清水区で過ごした井上馨の遺品類より、高杉晋作、久坂玄瑞らと攘夷決行を誓った血判状の全文を順次公開します。

**京都市**【8/2~8/14】  
京の七夕 二条城夏のライトアップ



大政奉還の舞台となった国宝「二之丸御殿」や国の特別名勝「二之丸庭園」を、ありのままの姿、風情を大切に美しくライトアップ。今年は東大手門の修復工事も完了、皆様を入口でお迎えます。

# 2017年ますます面白くなる 各地のイベントご紹介

9月	5日	京都市	展示公開	夏の特別展「新選組、義に生きる!!第二期」【~9/24まで】 靈山歴史館(TEL:075-531-3773)	
	14日	京都市	展示公開	展示・収蔵館 第3期展示事業 大政奉還150周年記念展示第2弾 歴史の舞台〈大広間〉一の間の二間の障壁画【~11/12まで】 元離宮二条城(TEL:075-841-0096)	
	15日	会津若松市	展示公開	企画展「戊辰前夜」【~11/5まで】 <b>詳細▶</b> 若松城天守閣郷土博物館(鶴ヶ城)(TEL:0242-27-4005)	
	16日	福山市	展示公開	大政奉還150周年記念プロジェクト参画特別展 秋季特別展「福山藩・明治維新への胎動」 —老中 阿部正弘から榎本武揚まで—【~11/12まで】 福山城博物館(TEL:084-922-2117)	
	16日	宇和島市	展示公開	秋期特別展「宇和島藩伊達家の武具展と刀剣展」【~10/29まで】 宇和島市立伊達博物館(TEL:0895-22-7776)	
	16日	秋 市	展示公開	没後100年記念企画展「日本の工学の父 山尾庸三」【~12/3まで】 萩博物館(TEL:0838-25-6447)	
	22日	京都市	イベント	大政奉還150周年記念 二条城DE盆栽展【~9/24まで】 問合せ先/京彩実行委員会 委員長 西川(TEL:090-1593-1525)	
	23・24日	品川区	イベント	しながわ宿場まつり【2日間のみ】 <b>詳細▶</b> 品川宿交流館(TEL:03-3472-4772)	
	27日	京都市	展示公開	特別展 「大政奉還150年 龍馬と西郷隆盛 第一期」【~10/29まで】 靈山歴史館(TEL:075-531-3773)	
	29日	京都市	展示公開	特別展 大政奉還150周年「岩倉具視の生きた時代」【~1/23まで】 京都市歴史資料館(TEL:075-241-4312)	
30日	長崎市	展示公開	坂本龍馬没後150年記念展【~3/25まで】 長崎市龜山社中記念館(TEL:095-823-3400)		
10月	7日	熊本市	イベント	秋のくまもとお城まつり【~10/15まで(予定)】 問合せ先/熊本城総合事務所(TEL:096-352-5900)	
	9日	上田市	展示公開	特別展「赤松小三郎~幕末の先覚者~」(仮)【~11/26まで】 <b>詳細▶</b> 上田市立博物館(TEL:0268-22-1274)	
	11日	調布市	展示公開	大政奉還150周年記念企画展 「近藤勇と調布の幕末維新」(仮)【~12/17まで】 調布市郷土博物館(TEL:042-481-7656)	
	13日	福井市	展示公開	秋季特別展 「さよなら、江戸幕府 大政奉還と幕末の二条城—」【~11/26まで】 福井市立郷土歴史博物館(TEL:0776-21-0489)	
	13・14・15日	京都市	展示公開	150年記念特別初公開 坂本龍馬肖像画【3日間のみ】 酢屋(TEL:075-211-7700)	
	13日	京都市	イベント	大政奉還150周年記念 ○幕末維新サミット(仮称)【当日のみ】 ○二条城二の丸御殿・二の丸庭園ライトアップ【~10/22まで】 <b>詳細 裏表紙へ▶</b> 問合せ先/京都市文化芸術企画課(TEL:075-366-0033)	
	14日	調布市	講演講座	地域文化講演会「多摩の幕末維新」【当日のみ】 調布市文化会館たづくり 問合せ先/調布市郷土博物館(TEL:042-481-7656)	
	14日	下関市	展示公開	坂本龍馬没後150年記念特別展「龍馬がみた下関」【~12/10まで】 <b>詳細▶</b> 下関市立歴史博物館(TEL:083-241-1080)	
					会津若松市【9/15~11/5】 企画展「戊辰前夜」 
					戊辰戦争後の若松城天守閣 ..... 会津藩が、戊辰戦争の悲劇へと突き進んだ流れや、会津とともに、幕府の瓦解を避けようとする奔走した他藩の動きなども紹介し、「戊辰前夜」を追います。
				品川区【9/23・24】 しながわ宿場まつり 	
				しながわ宿場まつり(イメージ) ..... 江戸時代、東海道53次最初の宿場町として栄えた品川。おいらん道中・江戸風俗行列、昔のおもちゃ作り、品川寺の火渡りの荒行、辻落語、辻芝居、和太鼓の演奏など品川宿中で催し物が満載です。	
				上田市【10/9~11/26】 特別展 「赤松小三郎~幕末の先覚者~」(仮) 	
				赤松小三郎企画展(イメージ) ..... 幕末に幕府に建白書を提出し、欧米の議会政治の導入を提言した上田藩出身の赤松小三郎の生涯や功績などを当館所蔵の資料等により紹介。	
				下関市【10/14~12/10】 坂本龍馬没後150年記念特別展 「龍馬がみた下関」 	
				坂本龍馬没後150年を記念して開催。龍馬と下関の人々との交流を中心に、龍馬の足跡と龍馬の目に映った幕末の下関を紹介。歴史博物館をはじめ各地の龍馬資料を展示。会期中の10月28日(土)にはシンポジウムを開催。	

10月	20日	福山市	イベント	<b>福山菊花展覧会2017</b> 【~11/13まで】 福山城天守閣前 ほか 問合せ先／福山市観光課(TEL:084-928-1043)
	20・21・22日	鹿児島市	イベント	<b>薩摩維新ふるさと博</b> 【3日間のみ】 問合せ先／薩摩維新ふるさと博実行委員会(TEL:099-285-6763)
	21日	桑名市	展示公開	<b>特別企画展「幕末維新と桑名藩——会桑の軌跡——</b> 【~11/26まで】 <b>詳細▶</b> 桑名市博物館(TEL:0594-21-3171)
	21日	和歌山市	展示公開	<b>特別展「幕末の紀州藩」</b> 【~11/26まで】 <b>詳細▶</b> 和歌山市立博物館(TEL:073-423-0003)
	21日	高梁市	展示公開	<b>大政奉還150周年記念特別展「幕末の備中松山藩展」</b> 【~12/3まで】 高梁市歴史美術館(TEL:0866-21-0180) <b>詳細▶</b>
	25日	京都市	イベント	<b>大政奉還150周年記念</b> <b>アートアクアリウム城〜京都・金魚の舞〜</b> 【~12/10まで】 元離宮二条城(TEL:075-841-0096)
	28日	高梁市	イベント	<b>天空の山城 備中松山城とまるごと城下町フェスタ</b> 【~11/5まで】 問合せ先／(一社)高梁市観光協会(TEL:0866-21-0461)
	29日	萩市	講演講座	<b>薩長「志」シンポジウム</b> <b>〜長州ファイブや薩摩チューデントの「志」に学ぶ〜</b> 【当日のみ】 萩市民館大ホール 問合せ先／萩市企画政策課(TEL:0838-25-3342)
	31日	京都市	展示公開	<b>秋の特別展</b> <b>「大政奉還150年 龍馬と西郷隆盛 第二期」</b> 【~12/24まで】 霊山歴史館(TEL:075-531-3773)

11月	1日	京都市	イベント	<b>特別公開「秋の涉成園」</b> 【~11/5まで】 問合せ先／東本願寺参拝接待所(涉成園)(TEL:075-371-9210)
	1日	京都市	展示公開	<b>酢屋 龍馬追悼展</b> 【~11/30まで】 酢屋(TEL:075-211-7700)
	上旬頃	大阪市	イベント	<b>大阪城の秋まつり2017(仮)</b> 大阪城天守閣前本丸広場 問合せ先／大阪城天守閣(TEL:06-6941-3044)
	5日	熊本市	講演講座	<b>西南戦争140年記念シンポジウム</b> <b>「熊本城炎上の謎に迫る」(仮)</b> 【当日のみ】 問合せ先／熊本市文化振興課(TEL:096-328-2039)
	11・12日	京都市	イベント	<b>龍馬よさこい17</b> 【2日間のみ】 京都霊山護国神社・JR京都駅・円山公園音楽堂 ほか 問合せ先／京都霊山護国神社(TEL:075-561-7124)
	12日	萩市	イベント	<b>萩時代まつり</b> 【当日のみ】 <b>詳細▶</b> 中央公園(ほか市内各所) 問合せ先／萩時代まつり実行委員会(TEL:0838-25-3139)
15日	高知市	イベント	<b>龍馬生誕祭2017</b> 【当日のみ】 高知市立龍馬の生まれたまち記念館(TEL:088-820-1115)	

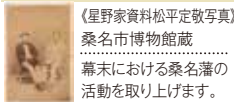
12月	12日	日野市	展示公開	<b>特別展「井上源三郎没後150年展」(仮)</b> 【~2/18まで】 日野市立新選組のふるさと歴史館(TEL:042-583-5100)
	中旬頃	霧島市	その他	<b>「西郷(せご)どんの宿」オープン</b> 問合せ先／霧島市観光課(TEL:0995-45-5111(代表))

秋頃 開催予定	京都市	展示公開	<b>企画陳列「二条城出土の銃(仮)」</b> 京都市考古資料館(TEL:075-432-3245)
	京都市	イベント	<b>二条城まつり</b> 元離宮二条城(TEL:075-841-0096)

このあと開催のイベント

3月17・18日	霧島市	イベント	<b>第22回 龍馬ハネムーンウォークin霧島</b> <b>詳細▶</b> 問合せ先／霧島市観光協会(TEL:0995-78-2115)
----------	-----	------	--

**桑名市** (10/21~11/26)  
特別企画展  
「幕末維新と桑名藩——会桑の軌跡——」



(星野家資料松平定歌写真)  
桑名市博物館蔵  
幕末における桑名藩の活動を取り上げます。

**和歌山市** (10/21~11/26)  
特別展「幕末の紀州藩」



江戸幕府が政権を朝廷へ返上した大政奉還から150年を迎えるのを記念して、激動の幕末に活躍した紀州藩出身の徳川家茂や陸奥宗光、新選組隊士矢田賢之助などに関する資料を展示し、その活動の一端を紹介いたします。

**高梁市** (10/21~12/3)  
大政奉還150周年記念特別展  
「幕末の備中松山藩展」



江戸幕府最後の老中首座を務めた藩主板倉勝静、勝静を支えた藩の重臣山田方谷を中心に、長州征討・倉敷浅尾騒動・玉島事件など備中松山藩をとりまく大政奉還前後の資料を紹介します。

**萩市** (11/12)  
萩時代まつり



大名行列をはじめ歴代藩主や奇兵隊などが市内を練り歩き、荘厳な時代絵巻を繰り広げます。

**霧島市** (3/17・18)  
第22回 龍馬ハネムーンウォークin霧島



2017年 実施イメージ  
日本の将来を思い描きながら二人が歩いた道を現代の龍馬とお龍となつて歩き、自然や歴史を楽しむウォーキング大会です。

幕末史を彩る

# 和菓子と日本酒の文化



## 江戸時代に庶民の味となった和菓子とお酒

菓子(和菓子)と日本酒は、ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」とともに日本の伝統的な食文化として長い歴史を持ち、独自の発展をしてきました。菓子は、木の実や果物を意味する「果子」が語源とされ、遣唐使などが中国大陸から持ち帰った「唐菓子」や室町から戦国時代にかけて伝えられた「南蛮菓子」などを取り入れて多様な菓子が生まれ、茶道とともに発達し、洗練されたものとなりました。江戸時代には庶民にも普及し、現代でも親しまれる和菓子のほとんどがこの時代に誕生したと言われます。

酒造りも古代から行われ、平安時代には現代の日本酒とほぼ変わらない製法で、様々なタイプの酒が造られていたと「延喜式」に記されています。江戸時代には清酒を大量生産する製法が普及し、各地で酒造業が発展していきました。

## 幕末の志士たちが親しんでいた味

東奔西走していた幕末の志士たちや藩主たちも、和菓子や日本酒を愛し、その味に親しんでいました。幕末の「四賢侯」の一人である土佐藩主の山内豊信やまうちとよしげ(ようどう)(容堂)は、自らを「鯨海酔侯けいかいすいこう」と称したほどの酒豪。容堂の生涯を描いた短編小説「酔って候」(司馬遼太郎 著)には、徳川慶喜の辞官納地が決定されることになった「小御所會議」で、容堂が酔った勢いでの失言する場面が描かれています。長州藩の桂小五郎や高杉晋作もお酒を題材にした詩歌を残しています。一方、豪傑のイメージが強い新選組局長の近藤勇や、薩摩藩の西郷隆盛は酒が苦手で、甘いものを好んだと伝わります。近藤は、「京都は菓子が美味しい」という手紙を郷里に送っていたとか。

常に命がけの日々を送っていた志士たちは、惜別や再会の酒を何度も酌み交わしていたことでしょう。また、和菓子を味わい、ひと時の平穏を楽しんでいたかもしれません。京都をはじめ各地には、代々受け継がれてきた味を伝える和菓子や造り酒屋の老舗がありますから、その味を楽しんで、歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

## 【プロジェクト参画都市の和菓子とお酒】

### 京都市

#### 清酒

良質の地下水と気候風土の京都では、古くから酒づくりが行われ、伏見は日本有数の酒どころで知られています。



#### 京都市清酒の普及の促進に関する条例について

全国有数の清酒(日本酒)の産地である京都市では、平成25年1月、全国で初めて「京都市清酒の普及の促進に関する条例」を制定し、清酒による乾杯の習慣を広めることにより、清酒の普及を通して日本人の和の暮らしを支えてきた様々な伝統産業の素晴らしさを見つめ直し、ひいては日本文化の理解の促進に取り組んでいます。

#### “京都をつなぐ無形文化遺産”

#### 「京の菓子文化—季節と暮らしをつなぐ、心の和なごみ」について

京都市では、京都に伝わる様々な無形文化遺産を大切に守り、未来に引き継いでいくため創設した「京都をつなぐ無形文化遺産制度」において、「京の菓子文化—季節と暮らしをつなぐ、心の和(なごみ)」を平成29年3月に選定し、その魅力の発信に取り組んでいます。

#### 京菓子

京菓子は、生菓子(なまがし)・半生菓子(はんなまがし)・干菓子(ひがし)に大きく分けられます。祭事などに使う儀典(ぎてん)菓子や、季節ごとに楽しむ季節菓子など、私たちの生活に密着しています。





## 会津若松市

### 会津清酒

会津藩直営の酒蔵で造られた酒「清美川」は、遠く下野国まで販売されていました。現在も数多くの酒蔵があり、それぞれに味わいある酒造りをしています。



## 福井市

### 水ようかん

全国的には夏菓子ですが、福井では冬が旬です。家族みんなでこたつに入り、箱に入った1枚もの水ようかんの水を切り分けて味わいます。



### 地酒

造り酒屋は、福井市内だけでも10軒以上。その清らかな水は美味なる米を育み、酒造りに最適な風土を作り上げてくれました。

## 和歌山市

### 本ノ字饅頭(総本家駿河屋)

「本」という焼き印が押された酒饅頭「本ノ字饅頭」は江戸時代、紀州徳川公が参勤交代のおり、その道中にてご賞味されたという創業以来の製法を伝える逸品です。



## 静岡市

### 安倍川もち

東海道の宿場が6つもあった静岡市では、旅人たちは安倍川もち、追分羊かんやうさぎ餅などを食べて体力を蓄え、次の宿場へ向かったそうです。



## 上田市

### 上田の地酒6蔵

信州の豊かな自然が育む良質な米と水、そこに亘る永くいた各蔵伝統の技を継ぐ若い杜氏の工夫や革新が加わり、蔵ごとにこだわりと特徴を持つ地酒が醸されます。



### 銘菓くるみそば

伝来の製法でじっくり練り上げた餡を香り豊かなそばの皮で包み、くるみをまぶしました。

## しながわみやげ

伝統ある港町や最先端の情報都市、多機能で庶民的な品川には、品川餅や品川巻など「品川」の名を冠したお菓子がたくさんあります。



## 品川区

### 品川縣ビール

明治2年、時の縣知事であった古賀一平により「日本最初のビール工場」が建てられました。日本最古の酵母を使用し再現したビールです。

## 高知市

### 土佐酒

高知の酒は淡麗辛口で透明、口当たりがよく飲み飽きないのが特長で、「酒国・土佐」とよばれるほど。「箸挙」や「く杯」など高知独特の宴席文化があります。



## 清酒 高梁市

優れた水質を誇る高梁川の伏流水、最高の酒米、そして備中杜氏の卓越した技によって美味しいお酒が造り出されています。



## 韮・命酒

蒸したもち米と米麹に焼酎を加えた原酒に、薬味を漬け込んだ和製リキュール。江戸時代に考案され、老中首座 阿部正弘が、ペリーやハリス一行をもてなす宴食でもふるまわれました。



## 福山市

## 夏みかんの丸漬 萩市

明治維新後、禄を失った士族救済の為に栽培が始まり特産品となった夏みかん。中身をくり抜き丸ごと蜜酒に漬け、中に白羊羹を流し込んだ「夏みかんの丸漬」は萩の銘菓です。



## 極上最中伊達侯

8代宇和島藩主宗城公が明治維新の際、功績があったとして侯爵に任ぜられ、その名前に風格にちなんで命名された最中です。



## 下関市

### 若獅子の酒

明治維新を陰で支えた白石正一郎。下関の豪商であった彼の存在が高杉晋作など維新の志士の活動を支え、新しい日本の夜明けを導いたと言われています。彼の偉業を称え命名した純米酒です。



### 阿王雪

慶応2年創業とされる和菓子屋松琴堂を来店した伊藤博文が、「口中で消えゆく感じが春の白雪を思わせ菓の王の冠たるもの」とほめて「阿王雪(あわゆき)」と名付けて、好んで召し上がっておられたと伝えられます。



### 赤酒

赤酒(あかざけ)は米から造られる熊本県の伝統酒で、木灰を加えて保存性を高めるのが特徴です。現在も熊本では御神酒やお正月のお屠蘇(とそ)として盛んに飲まれていて、また料理用の酒として全国で広く使用されています。



## いきなり団子 熊本市

輪切りにしたサツマイモと餡を、餅または小麦粉を練って平たく伸ばした生地で包んで、蒸したお菓子。来客がいきなり来てもしきりに出せる菓子の意など諸説あります。



### 焼酎

芋など風味の味わい深い本格焼酎が、多くの方に親しまれています。霧島市内には、大小8つの蔵元があり、工場見学ができる場所もあります。

## 角まんじゅう

らくがんで羊羹を挟んだお菓子。薩摩の偉人、西郷隆盛が霧島を訪れた折ごとに好んで食べ、「角まんじゅう」と名付けたといわれる銘菓です。



## 霧島市

## 鹿児島市

### 両棒餅・かるかん

武士が刀を2本差す「両棒差し」にちなんで竹串が2本差してある「両棒餅(ちゃんぽもち)」・山手を使い真っ白でふんわり柔らかな「かるかん」。どちらも鹿児島を代表する伝統銘菓です。



### 本格芋焼酎

鹿児島で酒と言えば本格芋焼酎。蔵元ごとにこだわりがあり、銘柄でも絶妙に異なる味の違いを楽しめます。写真の黒ちよかと盃で飲めば、一層風情があります。



幕末維新の舞台を巡ろう!

スタンプを集めて、  
旅行券・名産品などをゲット!  
専用ハガキでご応募ください!



各地名産品等の  
賞品も増えて  
バージョンアップ!



各都市のスタンプ  
設置場所を巡って  
スタンプを押印!

必要事項を  
専用ハガキに明記して、  
応募しよう!

巡った都市の数  
(スタンプの数)により、  
抽選で旅行券・  
名産品などが当たります!



◆ スタンプラリー実施期間 2017年 1月22日(日)~12月31日(日)

◆ 応募締切 2017年 12月31日(日) 当日消印有効

### 応募方法

ハガキ部分をキリトリ線で切り取り、切手を貼って、お名前(フルネーム)、郵便番号、ご住所、電話番号、性別、年齢を記載の上、応募宛先までご送付ください。

※おひとり様ハガキ1枚のご応募とさせていただきます。

※平成29年1月発行のガイドブック内のハガキでもご応募できます。

### 当選発表

当選者の発表は2018年1月下旬頃、発送をもって発表に代えさせていただきます。

### 賞品

旅行券・右記名産品などが抽選で当たります!

#### 全制覇 特別賞

徳川慶喜が大政奉還を諮問した  
「二条城 二の丸御殿大広間」で記念撮影!

※普段は廊下からしか見学できません。



二条城 二の丸御殿大広間

#### 名人コース

7スタンプ以上制覇 ..... 旅行券50,000円分 1名様

#### 達人コース

5スタンプ以上制覇 ..... 旅行券10,000円分 3名様

#### 手習いコース

3スタンプ制覇 ..... 旅行券3,000円分 20名様

### 22都市を巡る スタンプスポット ※スタンプスポットは21都市の設置となります。

【会津若松市】会津若松城(鶴ヶ城) / 【千代田区】日比谷図書文化館 / 【品川区】品川区立品川歴史館 / 【調布市】調布市郷土博物館 /

【日野市】日野市立新選組のふるさと歴史館 / 【上田市】上田市立博物館 / 【静岡市】静岡市文化財資料館 /

【福井市】福井市立郷土歴史博物館 / 【桑名市】桑名市博物館 / 【京都市】元離宮 二条城・幕末維新ミュージアム雲山歴史館 /

【大阪市】スタンプの設置はございません / 【和歌山市】わかやま歴史館 / 【高梁市】備中松山城 / 【福山市】福山城博物館 /

【萩市】萩・明倫学舎 / 【下関市】下関市立歴史博物館 / 【宇和島市】宇和島市立伊達博物館 / 【高知市】高知市立龍馬の生まれたまち記念館 /

【長崎市】長崎市亀山社中記念館 / 【熊本市】熊本市田原坂西南戦争資料館 / 【霧島市】塩湯温泉龍馬公園 / 【鹿児島市】鹿児島市幕末維新ふるさと館

# 大政奉還150周年記念プロジェクトを応援しています!



現代は、地域の違いを楽しむ時代になってきています。地域の文化を歴史に立脚したものがたりとしてきちんと説明し、紹介することが大事です。今あるものの見方や考え方を変えてそこに面白さを発見する、つまり、文化を楽しむ「脳内リゾート」することこそが、21世紀の豊かな社会の姿だと思います。この大政奉還150周年記念プロジェクトが「脳内リゾート」を楽しむことについて考えるきっかけになればいいと思います。

いそだみちふみ

磯田道史さん(歴史学者・国際日本文化研究センター准教授)

左記賞品に応募された方の中から抽選で各地名産品・オリジナルグッズ等が当たります。

計585名様

## 会津若松市



会津清酒(四合瓶2本セット)  
[3セット]

## 品川区



しながわみやげ詰め合わせ[10個]  
/品川歴史館オリジナルクリア  
ファイル3種類[200セット]

## 目野市



新選組をテーマにした  
「手ぬぐい」[100枚]

## 上田市



信州上田名産品セレクト  
[3名](信州上田の魅力が詰  
まった各種名産品または体験  
型サービスから1つ選択)

## 静岡市



静岡茶間屋謹製  
「茶あ飯の素」[3袋]

## 福井市



大政奉還150周年記念  
セット[10セット](徳川慶喜油  
絵「西洋雪景園」トートバック他)

## 京都市



特別純米 二条城[5本]  
※大政奉還150周年お猪口と  
二条城升付き

## 和歌山市



和歌山ラーメン(3食入り)  
[20セット]

## 高梁市



高梁紅茶[5袋]

## 福山市



鞆・保命酒(飲みくらべ  
4本セット)[5組]

## 萩市



夏みかんの丸漬[5個]

## 下関市



阿王雪(あわゆき)[10セット]  
/若き獅子の酒[12本]/高杉晋  
作・坂本龍馬オリジナルクリア  
ファイル2枚セット[50セット]

## 宇和島市



宇和島城クリアファイル  
[100枚]

## 高知市



アイスクリン(100cc  
カップ×18個入り)  
[5セット]

## 長崎市



長崎和牛出島ばらいろ  
ローストビーフ[3本]

## 熊本市



ひごまるぬいぐるみと熊本の伝統  
工芸品セット[1セット]/本庄東  
肥赤酒720ml[12本]/熊本城・  
肥後の偉人関連グッズ[10セット]

## 霧島市



霧島市内8つの蔵元の本  
格焼酎(5合瓶)いずれか  
1本[8本]

## 鹿児島市



かるかん5枚・かるかん  
饅頭5個入り詰め合わせと  
オリジナルクリアファイ  
ル・ボールペン[5セット]

※左記、賞品とのダブル  
当選はございません。

※各地名産品のご指定は  
できません。

※各地名産品のお酒は  
20歳以上の方より抽選  
いたします。

※賞品の発送先は日本国内に限らせていただきます。※ご当選の権利はご本人のみ有効で、譲渡・換金とはできません。※ご応募いただいたハガキの返却はいたしません。  
※抽選結果に関するお問合せはお受けできませんのでご了承ください。※予告なく賞品、対象期間、適用条件等を変更する場合があります。  
※スタンプは、他の用紙の切り貼りは認められません。

## ガイドブック・スタンプラリーの問合せ先

### 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

〒604-8006 京都市中京区河原町通御池下ル丸屋町394番地 Y・J・Kビル2階 TEL : 075-366-0033 FAX : 075-213-3181

大政奉還150周年記念プロジェクト <http://www.taiseihokan150.jp/>

# 大政奉還150周年記念プロジェクト

平成29(2017)年は、武家政権が終わりを受け、新しい国づくりへの転換期となった慶応3(1867)年の「大政奉還」から150年の節目に当たります。この機会を捉え、幕末維新に縁を持つ全国の22都市が相互交流・連携を図りながら記念事業に取り組みます。

## 【プロジェクト参画都市】

会津若松市・千代田区・品川区・調布市・日野市・上田市・静岡市・福井市・桑名市・京都市・大阪市・和歌山市・高梁市・福山市・萩市・下関市・宇和島市・高知市・長崎市・熊本市・霧島市・鹿児島市(順不同)

## ■平成29年度注目の事業

### 講座・シンポジウムの開催

幕末維新に京都で活躍した先人たちを再評価する講座やシンポジウムを開催します。

### プロジェクト参画都市との交流・連携事業

#### 幕末維新サミット(仮称) 平成29年10月13日(金)

プロジェクト参画都市の代表者が京都で一堂に会し、文化・観光等を通じたまちづくりを語り、相互に交流・連携を深めるサミットを開催します。(参加者募集の詳細はHPで公表します。)

#### 大政奉還150周年記念 二条城ライトアップ 平成29年10月13日(金)～10月22日(日)

大政奉還150周年を記念し、二条城二の丸御殿内・二の丸庭園のライトアップを行います。また、ライトアップ期間中に、二条城にてプロジェクト参画都市による物産展や伝統芸能の公演等の交流事業も行う予定です。

詳しくは <http://www.taiseihokan150.jp/>

◆お問い合わせ 京都市文化芸術企画課 Tel.075-366-0033



二の丸御殿内ライトアップ(イメージ)

二の丸庭園ライトアップ(イメージ)

第42回

## 京の夏の旅

## 文化財特別公開



ひがしほんがんじ とびちけいだいち しょうせいえん ろあん

### 東本願寺飛地境内地 涉成園「蘆菴」 二階建て茶室特別公開

京都駅から徒歩約10分、もしくは地下鉄烏丸線で「五条」駅下車徒歩約7分

平成29年7月8日(土)～9月30日(土)

【時間】9:00～16:30(受付終了)17:00閉門

※お1人500円以上の庭園施設維持・保全のための「庭園維持寄付金」をお願いしています。  
500円以上お納め頂いた方には「涉成園ガイドブック」を贈呈。



涉成園「蘆菴」

### 定期観光バス特別コース ～京の別邸と庭園美をたずねて～

LS



※当コースは 毎週水曜運休

◎出発時刻: JR京都駅烏丸口 10:20発(所要時間 約5時間30分～6時間)

◎料 金: 大人9,300円/小児6,950円

グループ割引(8名以上)大人9,100円/小児6,750円

◎予約・お問い合わせ

京都定期観光バス予約センター: Tel.075-672-2100(7:40～20:00)

<https://resv.kyototeikikanko.gr.jp/>

- 東本願寺飛地境内地 涉成園「蘆菴」
- 旧三井家下鴨別邸【8/10～27は主屋二階特別公開】
- 旧九條家別邸 拾翠亭
- 【甘味】西尾ハッ橋の里(西尾ハッ橋別邸)
- 【昼食】下鴨福助

【お問い合わせ】京都市観光協会 Tel.075-213-1717(9:00～17:00)

京都市観光協会

### 「世界遺産・二条城一口城主募金」ご協力をお願い

京都市では、徳川慶喜が「大政奉還」の意志を表明した二条城を次代へ保存・継承していくために、国宝・二の丸御殿をはじめとする文化財建造物等の本格修理事業に平成23年度から取り組んでおります。今回の本格修理は、築城以来の大修理であり、多大な資金と長い年数が必要となります。そのため、修理に当たっては、「世界遺産・二条城一口城主募金」を募っております。皆様温かいご支援をお願い申し上げます。

詳しくは

### 「熊本市文化財災害復旧支援金」ご協力をお願い

平成28年熊本地震では、熊本城をはじめ幕末維新に縁の横井小楠記念館(四時軒)など多くの貴重な被害を受けています。皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。



震災前の横井小楠記念館(四時軒)

詳しくは



大政奉還150周年記念プロジェクトの各都市のお知らせイベント情報は WEBでも公開中!

<http://www.taiseihokan150.jp/>